

## 「生命を考える」

奈良県立医科大学学長 よしだおさむ 吉田修

中国古代の生命哲学では、人間の生命を無限の空間と時間の中に位置づけ、宇宙的な規模で認識しようとしている。そして、万物は全体として有機的な一体性を保持し、相互補完の関係にあり、人類だけの利益、利便のために他者を傷つけ害うことは許されるべきではないと捉えている。

この思想は、シュワイツァー博士の「生命の畏敬」へとつながるものと思うが、私は医学者ないしは医療者の立場からの考えを述べてみたい。